

「楽しい青技交」を目指して

2021年がスタートしました。早いもので、今春には、第16期の任期満了となります。2019年には、歴代の諸先輩方と全国の青年技術士交流委員会みなさまをお迎えした30周年記念イベントを開催、2020年には、私が入会した当時、第一線で活躍されていた尊敬する委員長ら幹部メンバーが卒業され、私としては、これまでの委員会活動において感慨深い2年間だったと振り返っております。

私が技術士となり、青年技術士交流委員会の活動に参加してから約10年。これまで、多種多様な講演会、交流イベント、テクニカルツアーなど企画に携わり、参加しました。青年技術士交流委員会は「会員相互の交流による親睦並びに研修による青年技術士の資質向上」を目的としています。その交流や研さん活動が、社会貢献と技術士の知名度向上に寄与していることに感銘を受けつつ、一般の企業人としては経験できなかったであろう感動を同じような志を持つ技術士・技術者が分かちあえる素晴らしい会だなと、改めて感じております。私は所属する企業の上司に「学会のなかでいちばん楽しいし、青年技術士の情熱あふれる会！」と紹介され、入会しました。いまでは、私も後輩・同僚はじめ、社外の技術者へ自信を持ってそのように紹介しています。

(いま現在もですが)昨年、コロナ禍の影響により委員会の交流・活動が制約されるなか、オンラインミーティングを活用した交流を主体とし、オンラインでの講演会やテクニカルツアーを開催しました。リアルでの交流・研さんに勝るものではなかったかもしれませんが、課題もあります。一方で、オンラインでの活動が、場所・時間などの制約を受けずに気軽に交流・研さんできるなどのメリットも大

平岡 城 栄(ひらおか せいせい)

技術士(建設/総合技術監理部門)

公益社団法人

日本技術士会北海道本部

青年技術士交流委員会 委員長

社会活動委員会

技術者のミライ研究委員会 幹事



きく、遠方の幹事を含め、これまで家事や育児などにより参加できなかった幹事も参加できるようになってきました。今後もコロナ禍の影響が長引く可能性が大きく、オンラインのメリットを最大限に活かせればと試行錯誤しているところです。また、幹事みなさんの(技術士・技術者が持つ特有の)問題解決に向けた熱意や、新しいことにチャレンジする前向きな気持ちが、コロナ禍に伴う逆境にも屈せず、交流の場・研さんの機会を創出できていると感じております。

人が集まり、交流する場所には、創造力が生まれます。ひとりでは、または所属する企業内では叶えられないことが、交流・研さんから生まれるさまざまなアイデアや意見が集約されることによって、具現化できるようになると思います。その過程そのものが「楽しさ・わくわく」=「情熱・夢・希望」などのエネルギーに変換され、技術士・技術者の研さんの根源になっていくと確信しております。青年技術士交流委員会の先輩たちから教わり、これまでの委員会活動によって体感した「多様な人が集まり、楽しい交流の場から生まれる創造・創出されるものの素晴らしさ」を、現在、青年技術士交流委員会に所属している幹事、および今後入会していただけるであろう青年技術士の皆さんへ継承していくとともに、幹事や青技交のイベントに参加していただける方々がより楽しく交流できる機会・交流できる場を創出していく所存です。

最後になりますが、日本技術士会北海道本部の会員、ならびに会友のみなさまには、今後とも、ご指導、ご助言いただけますよう、よろしく願い申し上げます。